

## 会費納入についてお願い

1991年度会費 2,500円

出費多端の折、恐縮に存じますが会費を年内に同封振替用紙御利用の上お願い申し上げます。

## 交 換 誌

( X ・ 1989 - IX ・ 1990 )

(いずれも本部に保管しております)

神奈川自然誌資料 11 (神奈川県立博物館 Mar. 1990)

るりぼし (水戸昆虫研究会々誌)

14 (Mar. 1990)

越 虫 (越中むしの会連絡誌)

No.20 (IX・1989)、No.21 (II・1990)

すかしば (山陰むしの会々誌)

No.32 (X II・1989)、No.33 (IV・1990)

富山市科学文化センター研究報告

第13号 (V・1990)

## 編 集 後 記

- 本年は猛暑の夏だったと思います。虫の出現も平年と違っていたような面が見られましたがいかがでしたか。
- 本号はお陰さまで貴重な記録の発表が多くあります。御投稿下さった皆サンに厚く御礼申しあげ

ます。また本年は神戸市内と氷上郡の2ヶ所で調査採集の機会に恵れまして新知見も得喜んでいま  
す。

- インセクタリウムの Vol. 27, No.7 “昆虫と私” 欄で大沢省三博士が“昆虫採集雑感”を書  
いておられる。真に同感です。“昆虫採集を否定する風潮”がマスコミ、教育界にあることは悲し  
い次第で冷静にものごとを考へてほしいものだと思います。
- 本年“文芸春秋”7、8月にソ連科学アカデミー付属東洋学研究所国際協力部長アルクセイ・キ  
リチェンコとの対談“日本人よ我々は自己批判するあの参戦・抑留！ 非はわがソ連にあり”とす  
る文が発表になりました。真疑の程はわかりませんが編集子のような当事者としては何を今更と云  
う気持ちです。青春時代を“お国のために”と苦しい生活を強いられて来た者には現状の日本はこ  
のままでいいのかと暗澹たる気持ちです。こんなことは老人の世迷い言にすぎないのでしょうか？
- 相変らずの原稿難・資金難。来年度分の会ヒも宜敷しく。また“キベリハムシに関する文献目録”  
の方も合せましてお願い致します。

Vol. 19, No.1 は来年5月出版を目指します。

(T)

---

---

きべりはむし 第18巻第2号

1990年11月25日発行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方

振替 神戸7-26646

印刷：(株) 文 尚 堂

〒652 神戸市兵庫区下沢通3丁目4-11

---

---